

令和2年度商工会事業評価報告書

滋賀県

安土町商工会・東近江市商工会

事業評価委員会

委員長 近藤 宏一



1、評価委員会の実施概要

私たちは、令和3年4月9日（金）に「令和2年度CIエリア経営発達支援事業実績報告書」及び付属資料の送付を受け、各委員が書面議決書を提出することで評価を行いました。

本来であれば事業評価委員会を開催すべきところですが、新型コロナウイルスの感染者数が急増しつつあることから、書面での開催としました。

2、評価委員会の意見

私たちの意見は、以下のとおりです。

- ・まず全体として、新型コロナウイルスの感染が広がるなか、状況の変化に柔軟に対応し、中止した事業を代替する取組や、感染拡大の事業者への影響を把握する活動などに、精力的に取り組まれていることは、高く評価できます。
- ・また、予定した事業を実施したものでも、困難な状況のなか目標数値を達成、あるいは超過達成した事業が多数あることも、高く評価できます。
- ・特に、事業計画策定後のフォローアップ支援については、中小企業庁が厳しく見ている点であり、そこで目標を達成していることは、重要な成果です。
- ・需要動向調査については、代替の取組内容がややわかりにくいところがありました。
- ・新たな需要開拓についても、イベントの中止などの困難にもかかわらず、昨年につき具体的な成果があったことは、今後につながる成果です。ただ、実数は少なくなっているので、今後の持続的な取り組みに期待します。
- ・地域ブランド認証の獲得やインターネットの活用、チャレンジショップなどの取組も、今年度の成果を今後活かしていくことを期待します。
- ・支援力強化については、「見える化」が目標を大幅に超えて達成されるなど、今後活かせる成果を上げられていることが、高く評価できます。今後、OJTによる支援事例の共有などを通じて、職員の資質向上の成果が発揮されることを期待します。

以上